

YUME TAKKUSU 夢タックス No.63

発行者/(公社)新潟法人会青年部会 事務局/新潟市中央区西堀通3番町258番地24 いがた法人会館内 TEL025-223-1242

第39回「法人会全国青年の集い」山梨大会



第39回法人会全国青年の集い山梨大会が11月20～21日に甲府市のYCC県民文化ホールを会場に開催されました。

1日目は健康経営の活動報告や、租税教室の活動報告を拝聴させていただきました。

健康経営の活動報告で感じた事は地域や部員数の多寡に関係なく自分の地域を盛り上げようという意識の高さが印象に残りました。法人会の理念の一つでもある社会貢献活動を通じ、地域の振興、人材育成に繋がる活動内容で、自社でも取り入れたい、参考にしたいと思える活動報告でした。規模や部員数が少なく活動内容に制限等があると思いますが、何よりも、活動をされている方々が笑顔で自ら楽しんでいてのが拝聴して一番感じました。部員数減少が課題になっておりますが、今いる部員が楽しんで、地域の貢献活動を行えば、部員数も増えて行くのではないかと思います。簡単ではありませんが、少しずつでも意識していけば変わると思います。

2日目は会員交流分科会に参加いたしました。こちらは租税教室の勉強会でした。内容は参加者がグループでディスカッションを行い、各法人会で行っている内容や課題を共有致しました。また、今回は立川法人会様が主導となり、実際

地域社会貢献活動「献血」

令和8年1月17日(土) 黒崎市民会館 献血バス



今年度の地域社会貢献活動として、令和8年1月17日(土)、日本赤十字社様が黒崎市民会館で実施した献血バスにおいて、新潟法人会青年部会から4名、OB1名が献血に協力しました。

例年はスポーツ会場にて献血者への呼びかけ運動を行っておりま

を継続するための大切な土台になります。これからも健康に気を配りながら、地域のためにできる活動の一つひとつ積み重ねてまいりましょう。

会員交流・渉外・地域社会貢献委員長
土田隆太郎

すが、今年度は会場等の都合により実施を見送ることとなり、献血への参加のみとなりました。

当日ご協力いただききました皆様にご心より感謝申し上げます。ところで、皆様の人生の中で「あと何回」献血ができるでしょうか。「何歳まででもできるから百回くらいは行けるだろう」と思われるかもしれませんが、しかし実際には「日常的に服用している薬があると献血ができない場合もあります。年齢を重ねるにつれ、毎日飲む薬が増えることも珍しくありませんので、そう考えると私たちに残された献血の機会は、実はそれほど多くないのかもしれないです。

だからこそ、健康第一であり続けることが、地域社会への貢献

租税教室研修会

令和8年2月12日(木)

令和8年2月12日、法人会館にて「租税教育研修会」を開催しました。

5月からの租税教室に向け、12年ぶりに刷新された教材である「カノンとスバルの3つの願い」の視聴と共に、講師未経験者向けの実演を実施。参加者からは「基本シナリオが非常に分かりやすく、自分でも務められそう」と心強い声を頂きました。

より多くの部員に講師として参画を仰ぎ、今後も子供たちに税の役割を正しく伝えるべく、教材のさらなる充実にも努めて参ります。

租税教育委員長 羽田 豊



青年部会 部員募集!!

青年部会は税務研修・企業訪問・社会貢献事業・親睦交流等活発に、そして楽しく活動しております。

今後の更なる発展に向け、ただいま新入部員の大増強を図っております。法人会会員企業の皆様より、経営者や後継者、経理・営業部門の幹部候補の方々をご推薦賜りたくお願い申し上げます。

(公社)新潟法人会 青年部会

●お問合せは 法人会事務局/TEL025-223-1242

法人会青年部会は
献血サポーターに
登録しています



私たちは
献血推進キャンペーンを
応援しています。

健康経営研修会

令和7年12月11日(木)



令和7年12月11日、ANAクラウンプラザホテル新潟におきまして、健康経営研修会を開催いたしました。講師には、新潟大学発ベンチャー認定企業第1号である、株式会社アイセック 代表の木村大地氏を迎え、「働きながら健康になる文化創り」と題し、講演いただきました。

講演では、健康経営を単なる「福利厚生強化」として捉えるのではなく、企業の生産性向上や人材確保、持続的成長を支えるための「経営戦略」として捉えるべきであると、具体的なデータや事例を交えて説明されました。特に、企業の健康診断データを用い、その企業の健康課題を可視化し、施策の効果を定量的に評価する考え方は、従来の感覚的な健康経営に対する施策とは一線を画すものであり、とても説得力がありました。

本講演を通じ、健康経営は、日々の働き方や職場環境の積み重ねによって育まれる、「企業文化」とも言うことができると感じました。部会員の各社においても、従業員一人ひとりが、働きながら心身共に健康になれるよう、今後も青年部会において、健康経営の意識を高める機会を設けていきたいと考えています。

会員研修・健康経営委員長
後藤 祐太郎

歓送迎会

令和8年3月11日(水)



令和8年3月11日、ANAクラウンプラザホテル新潟において、令和7年度新潟県法人会青年部会の歓送迎会を開催いたしました。当日は、ご卒業を迎えられた高野潤様、今年度ご入会された新会員の皆様をはじめとする総勢25名にご参加いただき、盛況のうちに執り行われました。

開会にあたり、遠藤部会長より「挨拶と乾杯のご発声をお願い。和やかな雰囲気の中で会がスタートしました。続いて、本年度入会の新会員の皆様からそれぞれ自己紹介と抱負を述べたいただき、互いの理解を深める貴重な機会となりました。皆様の若々しい活力と情熱あふれる言葉から、青年部会全体のさらなる発展への期待が高まるひとときとなりました。なお、業務都合によりご欠席となった3名を含めて計8名が本年度の新会員として加わり、今後の活動への大きな力となることを期待されます。

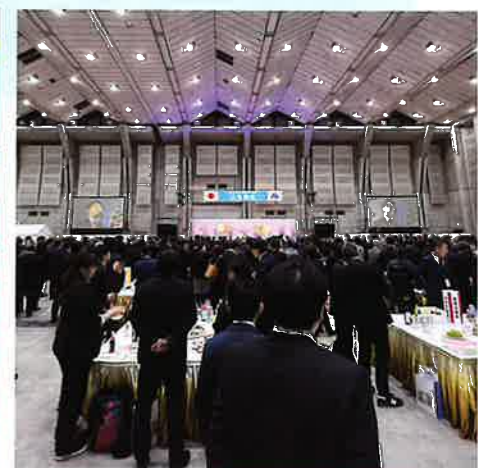
会の終盤には、この度ご卒業となる株式会社イタリア軒の高野潤様へ記念品贈呈を行いました。高野様からは、法人会の活動を通じて業種を越えた人脈を築くことができたことや、思い出深い租税教室でのエピソードなど、温かいお話を伺うことができました。

高野様は平成28年4月ご入会以来10年にわたり、また、当日ご欠席となった株式会社ベストプランナーの高橋章様は平成31年4月ご入会以来7年間、青年部会の活動に多大なご尽力をいただきました。

お二人の長年にわたる貢献に深く敬意と感謝を申し上げますとともに、先輩方が築いてこられた青年部会をさらに発展させていくことを会員一同で誓い、本年度歓送迎会のご報告とさせていただきます。

組織・企業交流委員長
岡村 雅盛

第39回「法人会全国青年の集い」山梨大会



に行っている授業のデモを行いました。マニュアル化されており、初心者の方でも行える工夫が随所にあり、素晴らしいと感じました。私事で申し訳ございませんが租税教室は過去2回しか参加しておらず、人前で話すのが苦手な為、率先して参加はしておりませんでした。しかし、立川法人会様の租税教室のメニューは自分にも出来そうと感じてしま

感じた事は、入会間もない方が参加されると、意識が高くなると思いましたが、悪い意味では無く、無知な状態で参加すると、法人会とは何かが理解出来ると感じました。また、自社にも落とし込めるような経営や他の部会員との交流も出来、充実した2日間でした。

全国から集まった青年部会員との交流に加え、新潟県法人会の部会員とも仕事に関する相談や今後の青年部会の活動について意見交換を行うことができ、有意義な全国大会となりました。先輩部会員の皆様から多くの学びを得る機会となり、参加できた事は大きな誇りとなりました。今後もこのような機会を通じて経験を積み、新潟法人会の活動に貢献していこうと思えます。

租税教育委員 山田 勝

第41回新潟県法人会連合会青年部会連絡協議会合同セミナーについて

令和7年10月9日(木)



令和7年10月9日、五泉市のガーデンホテルマリエールにて、「第41回一般社団法人新潟県法人会連合会 青年部会連絡協議会 合同セミナー」が開催され、新潟県内13の単位会から合計89名が参加し、そのうち新潟法人

会からは17名が出席しました。式典では、主催者を代表して遠藤青連協会長、開催地を代表して新潟県法人会の石川部会長よりご挨拶があり、来賓として新潟県税務署長より温かい祝辞を頂戴しました。

続いて、講師に林妙氏（元Tenyaアウンサー/足寿命アドバイザー）をお迎えし、
「従業員の高齢化と防災防止に役立つ健康経営」「足から企業のあしたを変える！転ばない足づくり」をテーマに記念講演が行われました。我々「24時間戦う経営者」にとっても、多くの気づきと学びを得る貴重な時間となりました。

その後の交流懇親会では、各地域の法人会メンバーが、親睦を深めました。二次会では遠藤青連協会長、関口副部会長をはじめ、多くのメンバーが参加し、大盛況。地域を越えた交流がさらに深まりました。

また、今回の開催地・五泉へ向かう道中では、蕎麦処「鬼七」に立ち寄り、新潟法人会メンバー同士で昼食を共にしながら親睦を深める良い機会となりました。

会員交流・渉外・地域社会貢献委員長
土田隆太郎